

平成30年度 第2回島根県幹線道路協議会 交通渋滞対策部会

日時：平成31年3月7日（木）13:30～15:00
場所：松江国道事務所 3階大会議室

議 事 次 第

1. 開会

2. あいさつ

3. 議 事

- | | |
|-------------------------|--------|
| (1) これまでの検討経緯 | 【報告事項】 |
| (2) 渋滞対策の効果検証 | 【報告事項】 |
| (3) 道路利用者会議と連携した渋滞対策の推進 | 【報告事項】 |
| (4) 観光地における渋滞対策 | 【報告事項】 |
| (5) 冬季の渋滞対策状況 | 【報告事項】 |
| (6) 意見交換 | |

4. 閉会

◇配布資料◇

- ◆出席者名簿
- ◆出席者配席表
- ◆部会規約
- ◆資料
- ◆主要渋滞箇所（一覧・位置図）

平成30年度 第1回 島根県幹線道路協議会 交通渋滞対策部会
出席者名簿

所属等	氏名	代理出席者等
国土交通省中国地方整備局		
企画部 広域計画課長	山田 明	欠
道路部 道路計画課長	吉田 真人	(代)桐谷建設専門官
道路部 地域道路課長	藤原 宏志	欠
道路部 交通対策課長	後藤 英夫	○
◎ 松江国道事務所長	鈴木 祥弘	○
松江国道事務所 計画課長	板谷 行順	○(原係長)
松江国道事務所 建設専門官	平野 幹人	欠
浜田河川国道事務所長	安野 聡	(代)山本副所長
浜田河川国道事務所 調査設計課長	藤田 新治	欠(三浦係長)
浜田河川国道事務所 道路管理課長	藤本 悟	欠
国土交通省中国運輸局		
交通政策部 環境・物流課長	井上 義典	欠
島根運輸支局 首席運輸企画専門官	小早川 雄二	欠
西日本高速道路株式会社		
中国支社 企画調整課長	富田 貴敏	(代)松江高速道路事務所 副所長 久行高弘
島根県警察本部		
交通部 交通規制課長	秦 昭博	○
交通部 交通管制センター長	飯塚 伸也	(代)主幹 羽根克明
島根県		
土木部 道路維持課長	大賀 隆宏	(代)道路維持S L 板垣正明
土木部 道路建設課長	宇田川 裕之	(代)国道G L 市川淳
○ 土木部 高速道路推進課長	舟津 修亮	○(小村G L、成相)
土木部 都市計画課長	西村 成人	(代)街路G L 坂本博志
松江市		
都市整備部 部長	安達 良三	(代)次長 森原 徹
歴史まちづくり部 部長	藤原 亮彦	(代)次長 永田 明夫
出雲市		
都市建設部 部長	長見 康弘	(代)次長 北脇正巳
(公社) 島根県トラック協会		
専務理事	宮城 了三	(代)事務局長 北川秀二
(一社) 島根県旅客自動車協会		
専務理事	眞田 安利	(代)事務局長 川島俊夫
(公社) 島根県観光連盟		
専務理事	小室 僚	欠

◎ : 部会長 ○ : 副部会長

平成30年度 第2回 島根県幹線道路協議会 交通渋滞対策部会

出席者配席表

プロジェクト

事務局

事務局

入口

記者席

随行者

出雲市 都市建設部長 代理
松江市 歴史まちづくり部長 代理
松江市 都市整備部長 代理
島根県土木部 都市計画課長 代理
島根県土木部 道路建設課長 代理
島根県土木部 道路維持課長 代理
島根県警察本部 交通部 交通規制課 交通管制センター長 代理
島根県警察本部 交通部 交通規制課 交通規制課長

副部会長 島根県土木部 高速道路推進課長	部会長 国土交通省中国地方整備局 松江国道事務所長
----------------------------	---------------------------------

国土交通省中国地方整備局 松江国道事務所 計画課長
公益社団法人 島根県トラック協会 専務理事 代理
西日本高速道路株式会社 中国支社 企画調整課長 代理
一般社団法人 島根県旅客自動車協会 専務理事 代理
国土交通省中国地方整備局 道路部 交通対策課長
国土交通省中国地方整備局 道路部 道路計画課長 代理
国土交通省中国地方整備局 浜田河川国道事務所長 代理

平成30年度

第2回 島根県 幹線道路協議会 交通渋滞対策部会

渋滞対策部会資料

平成31年3月7日(木)

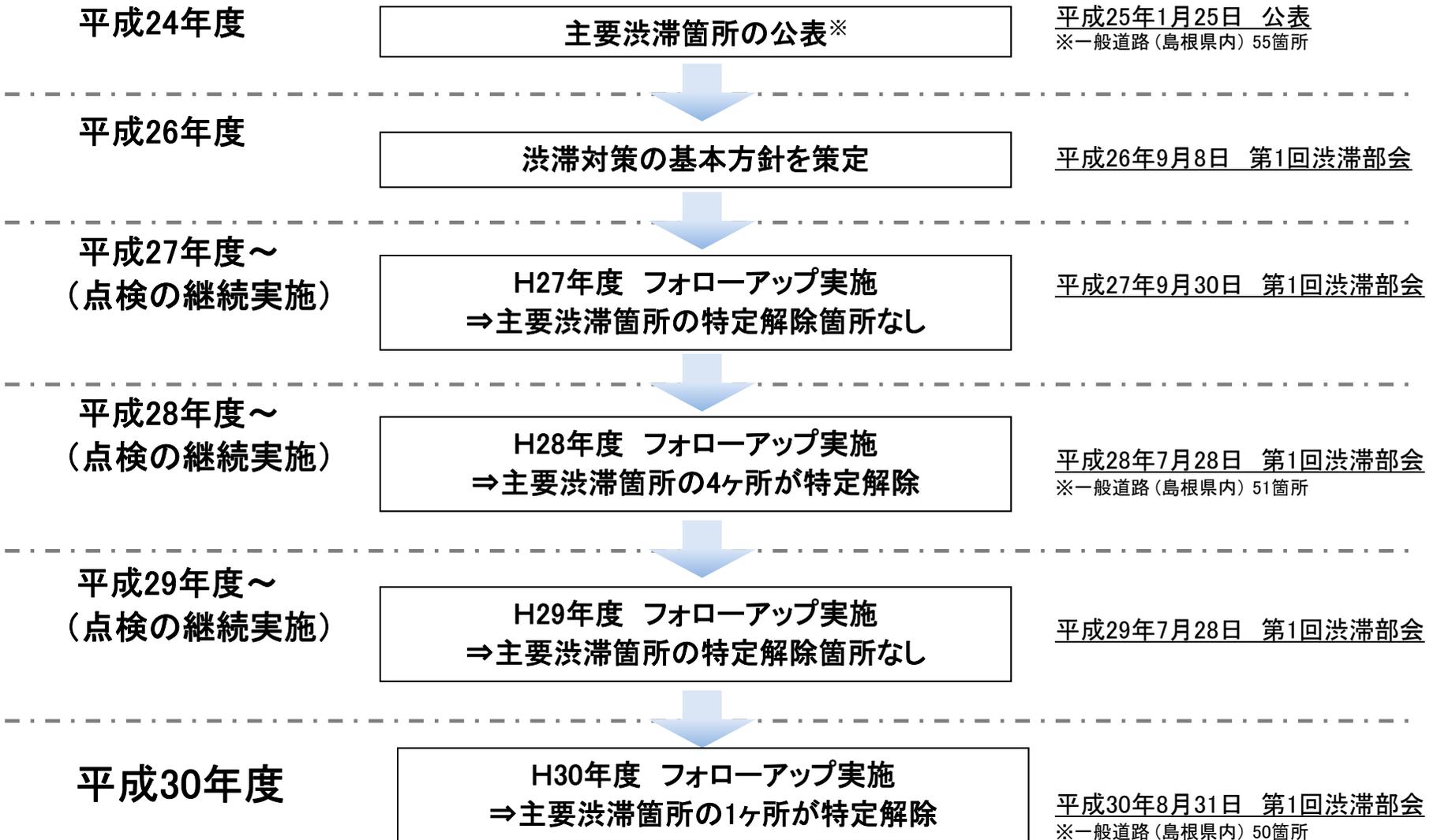
島根県 幹線道路協議会 交通渋滞対策部会

目次

1. これまでの検討経緯
2. 渋滞対策の効果検証
3. 道路利用者会議と連携した渋滞対策の推進
4. 観光地における渋滞対策
5. 冬季の渋滞対策状況

1. これまでの検討経緯

1. これまでの検討経緯



<本日の議題>

渋滞対策の効果検証

道路利用者会議と連携した渋滞対策の推進

観光地における渋滞対策

冬季の渋滞対策状況

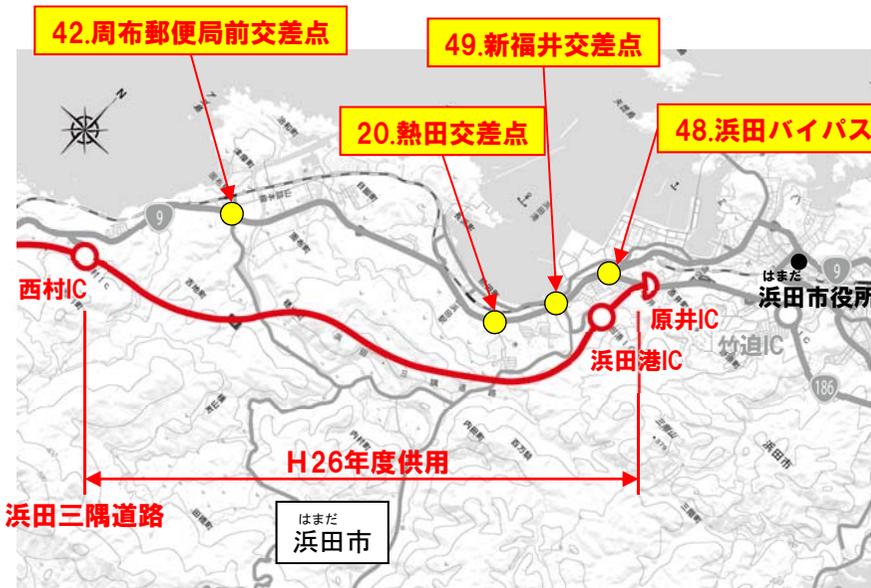
1. これまでの検討経緯

- 平成28年度島根県道路交通渋滞対策部会(H28.7.28)において審議を行った結果、**4箇所**の**主要渋滞箇所の特定解除**を決定。
- 里方交差点について、対策事業が完了し、データによる分析および合同現地点検結果を踏まえ、平成30年度第1回島根県道路交通渋滞対策部会(H30.8.31)において審議を行った結果、**主要渋滞箇所の特定解除**を決定。

◇特定解除箇所一覧

○：課題なし、▲：課題あり

番号	交差点名	箇所住所	対策事業名	主道路				従道路				審議結果
				路線名	道路管理者	旅行速度	渋滞長	路線名	道路管理者	旅行速度	渋滞長	
20	熱田	島根県浜田市熱田町	浜田・三隅道路	一般国道9号	浜田河川国道	○	○	西浜田停車場線	島根県	▲	○	解除
42	周布郵便局前	島根県浜田市治和町	浜田・三隅道路	一般国道9号	浜田河川国道	○	○	美川周布線 周布停車場線	島根県 島根県	▲	○	解除
48	浜田バイパス西口	島根県浜田市原井町	浜田・三隅道路	一般国道9号	浜田河川国道	○	○	一般国道9号	浜田河川国道	▲	○	解除
49	新福井	島根県浜田市熱田町	浜田・三隅道路	一般国道9号	浜田河川国道	○	○	浜田美都線	島根県	▲	○	解除
50	里方	島根県雲南市木次町	三刀屋拡幅	一般国道54号	松江国道	○	○	松江木次線	島根県	○	○	解除



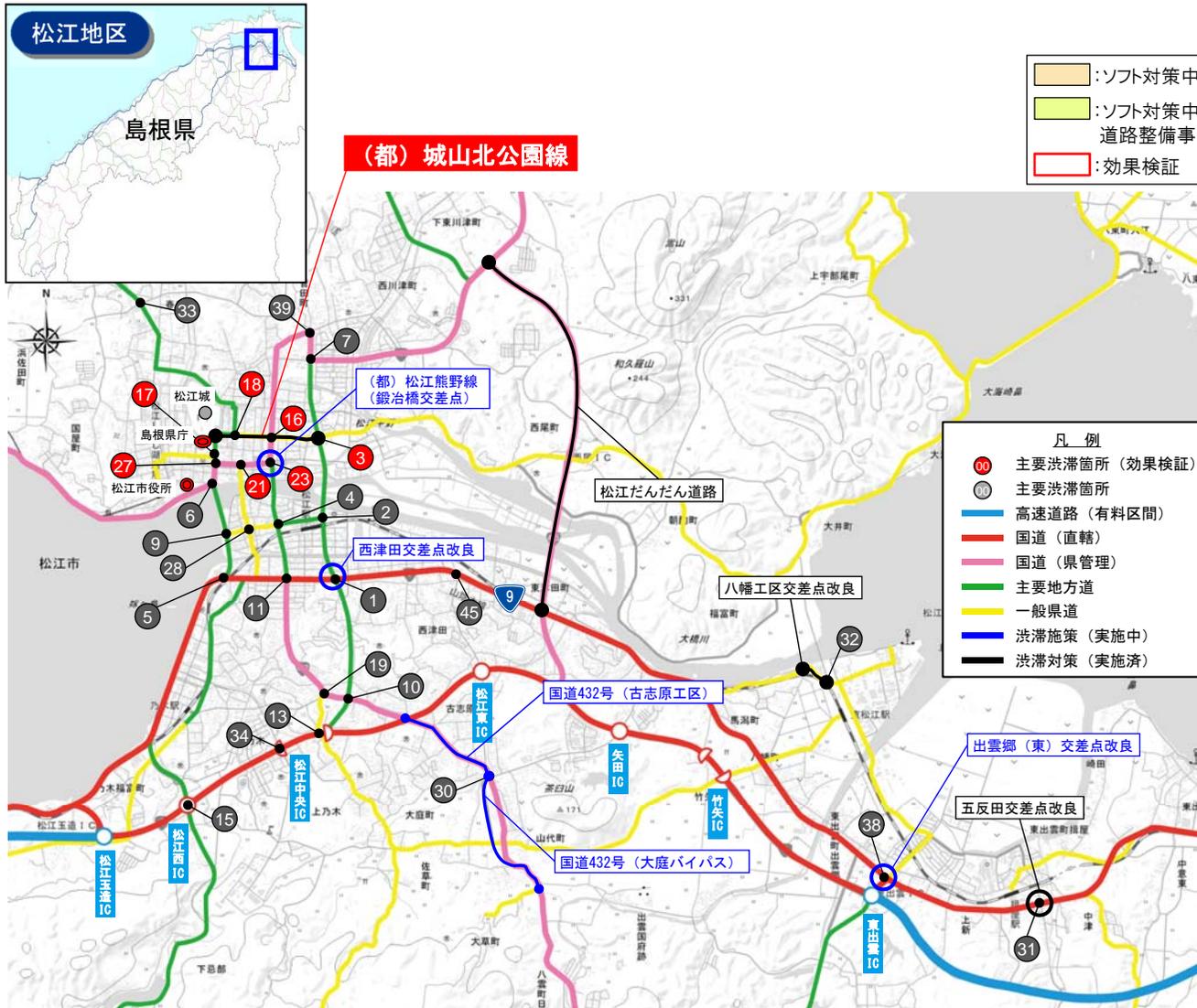
2. 渋滞対策の効果検証

- 2.1 (都) 城山北公園線の効果検証
- 2.2 (都) 出雲市駅前矢尾線の効果検証

2.1 (都)城山北公園線の効果検証

(1) 位置図

- 松江地区では、平成25年1月に島根県の主要渋滞箇所が公表されて以降、4つの道路整備事業が完了。
- 平成30年8月の(都)城山北公園線全線4車線化に伴い、「総合体育館前」「米子町」「城山入口」の3交差点および周辺主要渋滞箇所の4交差点を含め、最新交通データと整備前交通データにより整備効果検証を実施。



主要渋滞箇所と対策状況

番号	交差点名称	番号	交差点名称
1	西津田	18	城山入口
2	くにびき大橋南詰	19	上乃木三差路
3	総合体育館前	21	東京橋
4	朝日町	23	鍛冶橋
5	袖師	27	幸橋
6	穴道湖大橋北詰	28	天神町
7	付属中前	30	山代(ホック前)
9	穴道湖大橋南詰	31	五反田
10	上乃木東	32	中海大橋南詰
11	相生町	33	春日(みしまや前)
13	上乃木8丁目	34	松江中央
15	上乃木9丁目	38	出雲郷(東)
16	米子町	39	菅田
17	幸橋北	45	東津田

●実施済・道路整備事業

事業者	具体対策	整備(実施)年度
県	松江だんだん道路	H24
県	八幡工区交差点改良	H25
国	五反田交差点改良	H27
県	(都)城山北公園線(1、2工区)	H30.8完了

●実施中・道路整備事業

事業者	具体対策	整備年度
県	(都)松江熊野線(鍛冶橋交差点)	事業中
県	国道432号(古志原工区)	事業中
県	国道432号(大庭バイパス)	事業中
国	出雲郷(東)交差点改良	事業中
国	西津田交差点改良	事業中

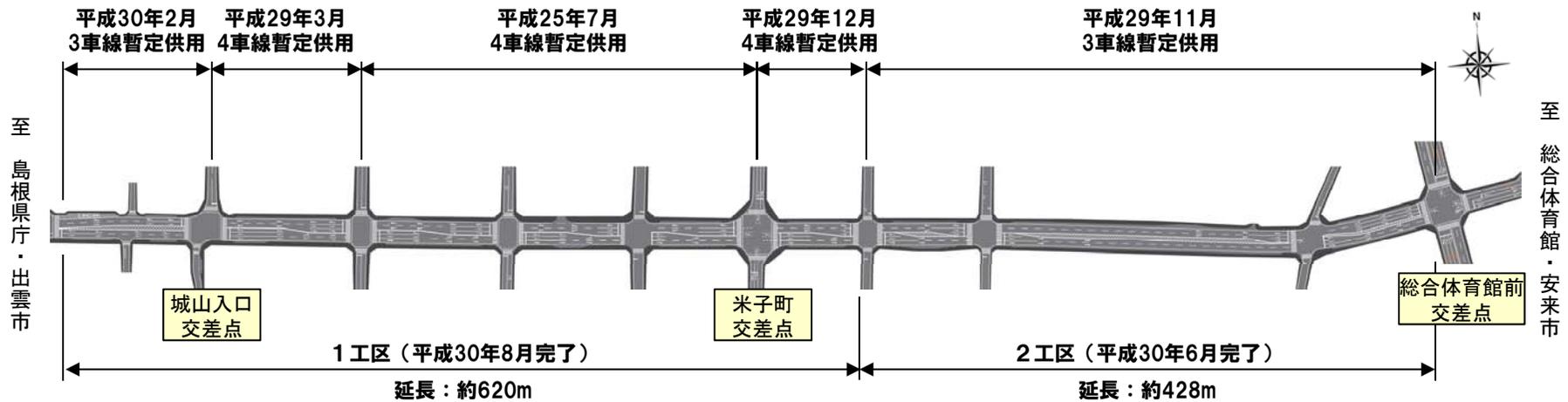
●実施中・ソフト対策

事業者	具体対策	整備年度
市	松江市ノーマイカー施策	実施中 (H21から)
市	公共交通利用促進策の拡大	実施中

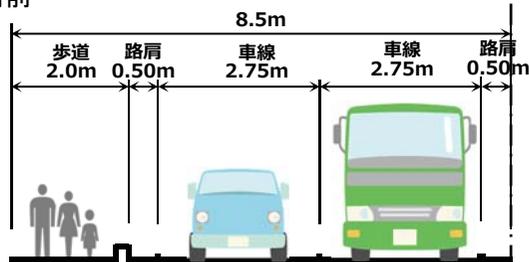
2.1 (都)城山北公園線の効果検証

(2) 事業概要

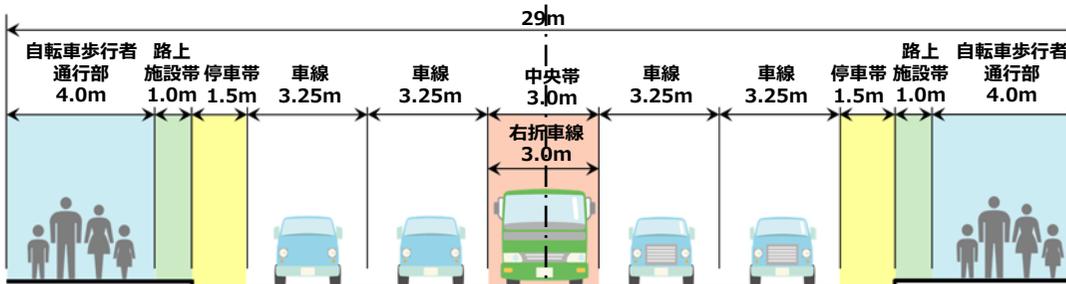
- (都)城山北公園線は、歩行者・自転車等の交通安全および朝夕の慢性的な渋滞の緩和を目的に、平面4車線拡幅整備、自転車・歩行者道等の拡幅整備を段階的に実施。



■整備前



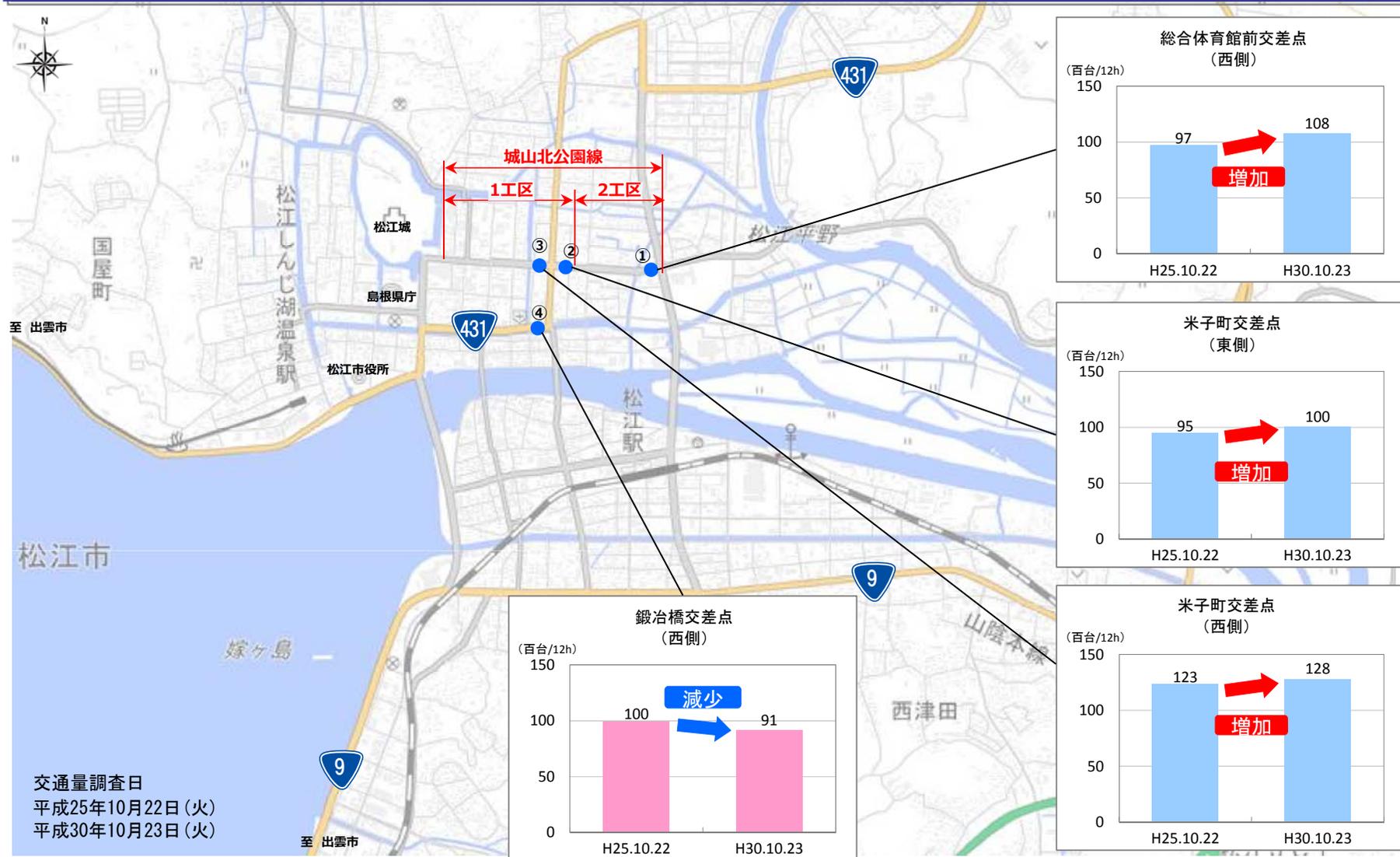
■整備後



2.1 (都) 城山北公園線の効果検証

(3) 効果検証:交通量

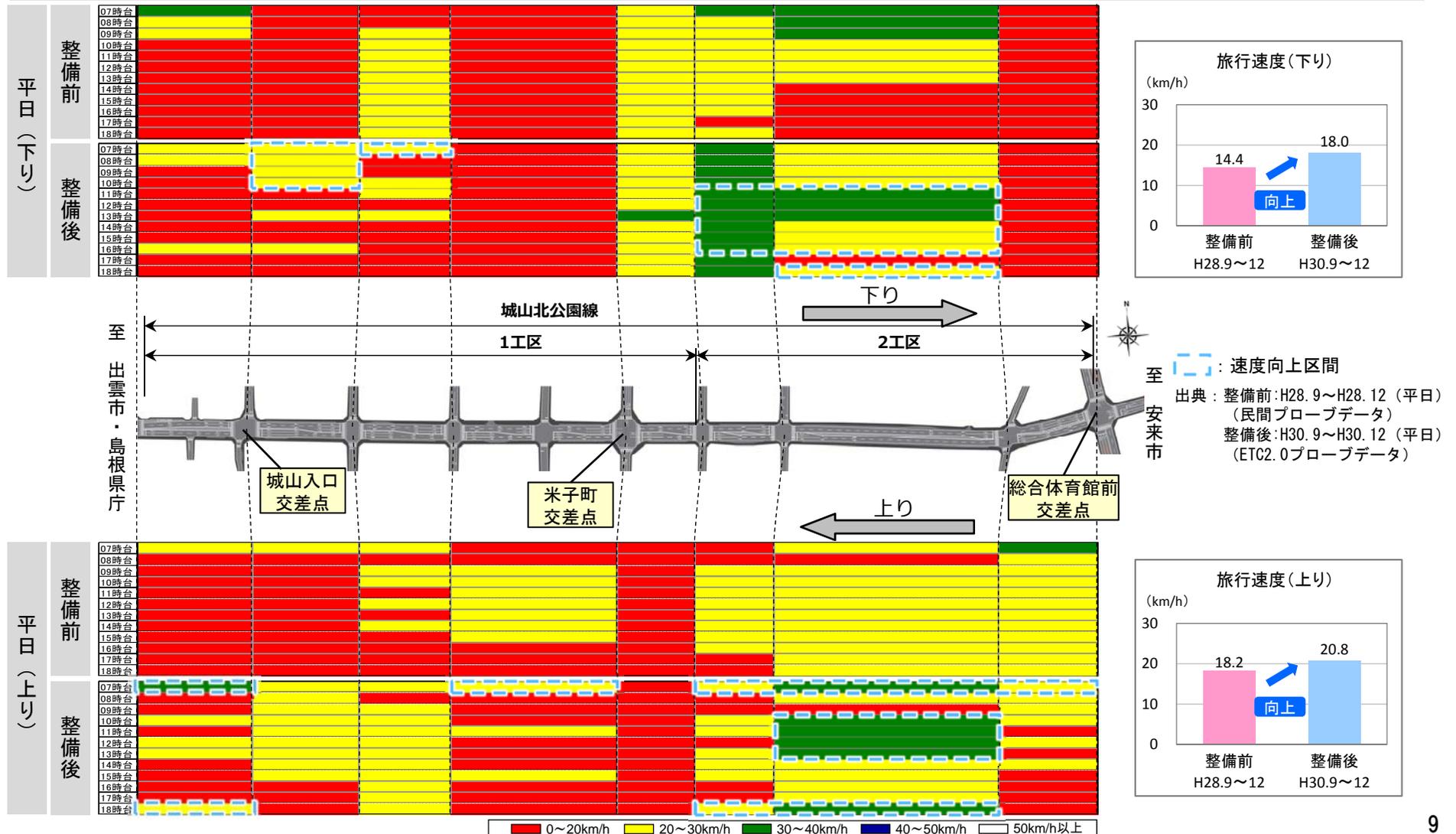
- 城山北公園線開通後(H30.8開通)の交通量調査結果では、3箇所全ての調査箇所で交通量が増加。
- 並行する国道431号(鍛冶橋交差点:西側)では、開通後の交通量が減少。
- 城山北公園線開通に伴い、並行する路線からの交通の転換を確認。



2.1 (都) 城山北公園線の効果検証

(3) 効果検証: 城山北公園線(速報)

- 城山北公園線の整備に伴い、朝ピーク時における上り線(島根県庁方面)は、旅行速度低下区間が改善。
- また、夕ピーク時における下り線(総合体育館方面)の総合体育館前交差点を先頭にした、20km/h以下の区間が減少。
- 上下線ともに整備前と比べ、路線全体の旅行速度が向上。

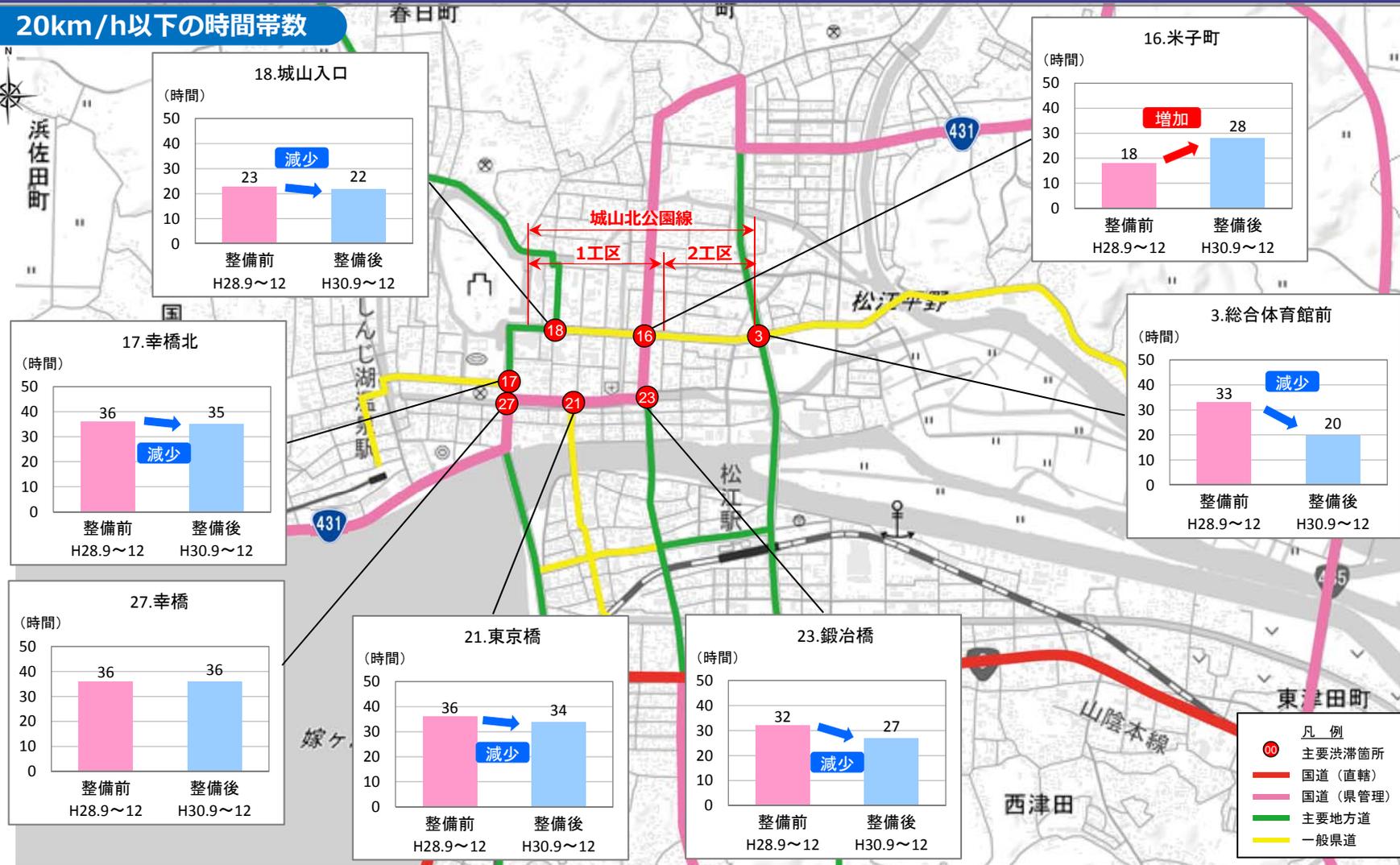


2.1 (都) 城山北公園線の効果検証

(3) 効果検証: 主要渋滞箇所(速報)

- 対策を実施した3箇所の交差点のうち2箇所で20km/h以下の時間数が減少。
- また、城山北公園線の周辺の主要渋滞箇所においては、3箇所で20km/h以下の時間数が減少。
- 平成31年度以降も引き続き各交差点におけるモニタリングを実施。

20km/h以下の時間帯数



出典：整備前：H28.9～H28.12（民間プローブデータ） 整備後：H30.9～H30.12（ETC2.0プローブデータ）

2.1 (都) 城山北公園線の効果検証

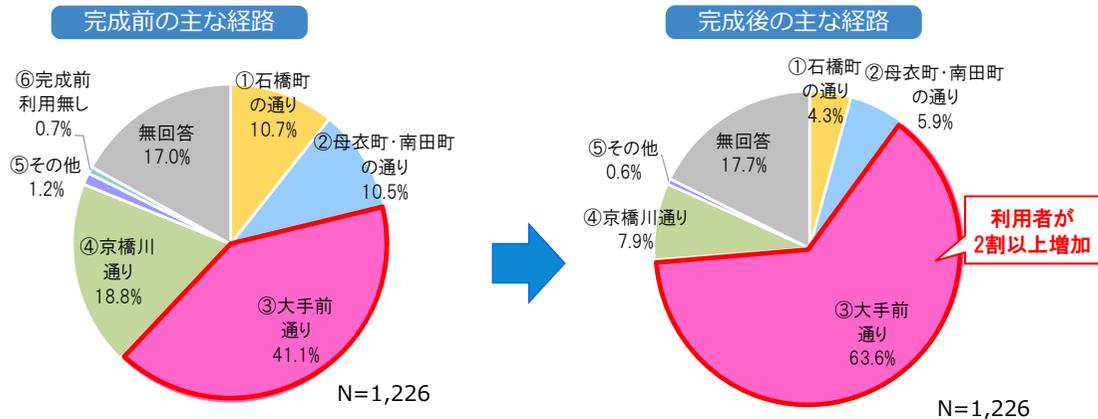
(3) 効果検証:WEBアンケート

- 現在大手前通り(城山北公園線)を利用している人の内、大手前通り以外の経路から大手前通りへ経路変更した人は2割以上。
- 大手前通りの完成に伴い、並行路線となる京橋川通りや周辺市道の交通が大手前通りに転換していることを確認。
- また、経路を変更した人の1割以上の利用者が大手前通り(城山北公園線)の渋滞緩和を実感。

WEBアンケートの概要

調査名称：大手前通り（城山北公園線）に関するアンケート調査
 実施機関：島根県
 回答数：1,226人

実施結果

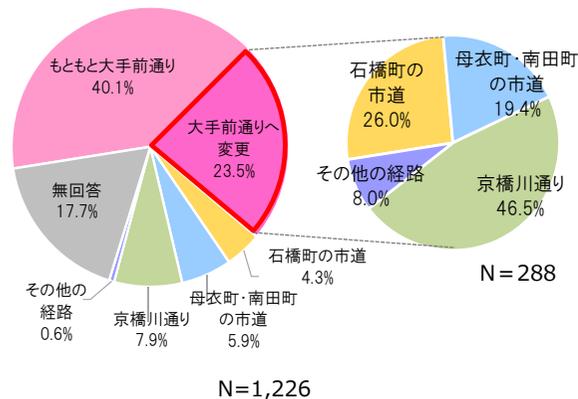


■大手前通り完成前後による利用経路の変化

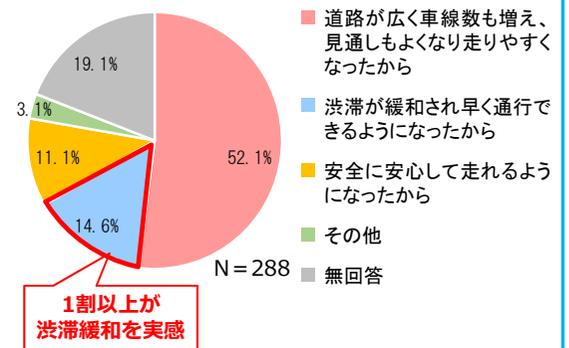
下図のエリア東西に通過する主な経路について
 (ドライバー限定)



大手前通りを利用している人の内訳



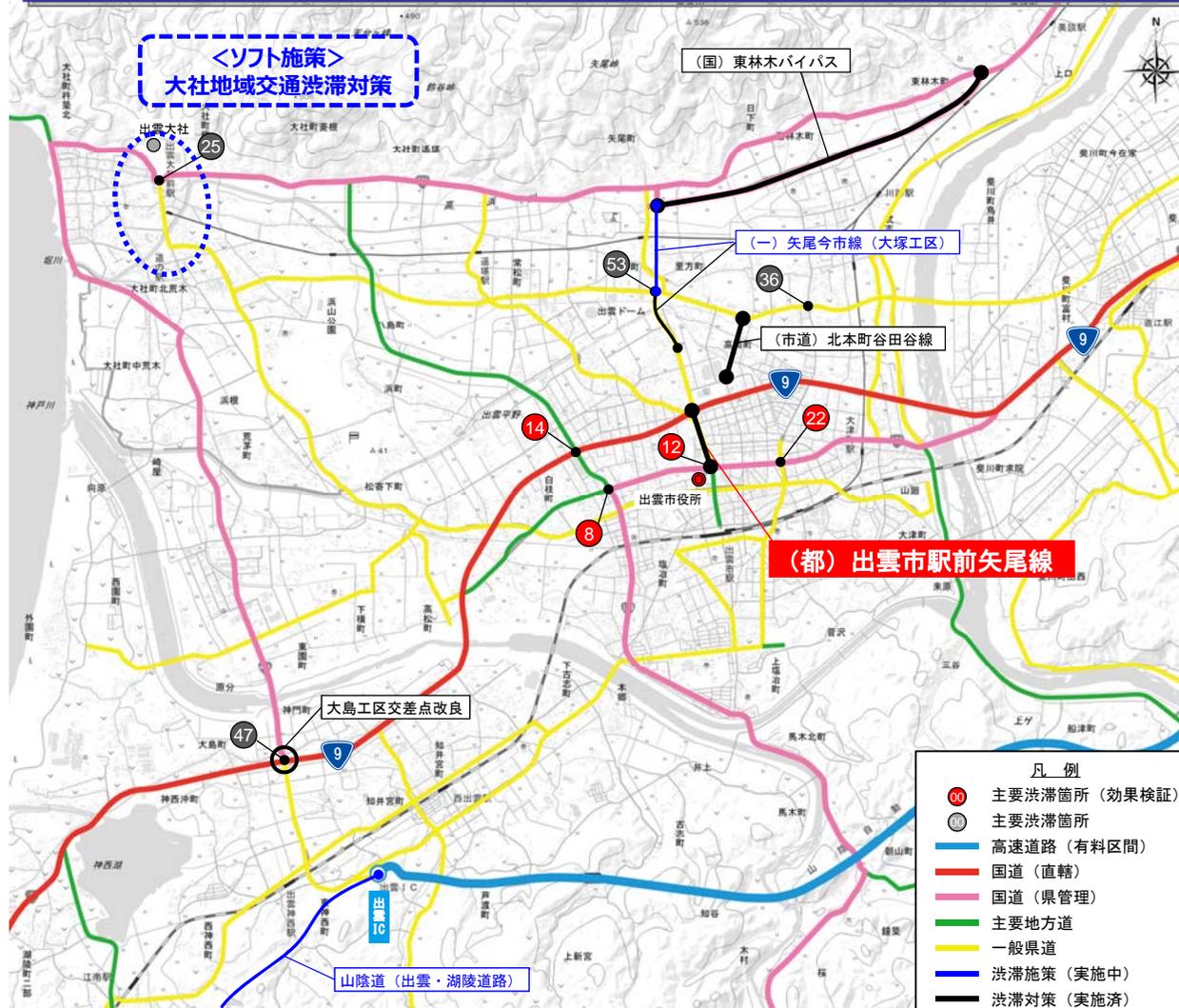
経路変更の理由



2.2 (都) 出雲市駅前矢尾線の効果検証

(1) 位置図

- 出雲地区では、平成25年1月に島根県の主要渋滞箇所が公表されて以降、4つの道路整備事業が完了。
- 平成30年3月の(都)出雲市駅前矢尾線(3工区)の整備完了に伴い、「市役所駅前」交差点および周辺主要渋滞箇所の3交差点を含め、最新交通データと整備前交通データにより整備効果検証を実施。



主要渋滞箇所と対策状況

番号	交差点名称	番号	交差点名称
8	渡橋中央	25	出雲大社正門前
12	市役所前	36	荻杼
14	渡橋北	47	大島
22	出雲商工会館前	53	高岡

:ソフト対策中
 :道路整備事業中
 :対策実施済み
 :効果検証

●実施済・道路整備事業

事業者	具体対策	整備年度
県	国道431号(東林木バイパス)	H25
県	大島工区交差点改良	H26
市	(市道)北本町谷田谷線	H26
県	(都)出雲市駅前矢尾線	H29

●実施中・道路整備事業

事業者	具体対策	整備年度
県	(一)矢尾今市線(大塚工区)	事業中 (一部供用済み)
国	山陰道(出雲・湖陵道路)	事業中

●実施中・ソフト対策

事業者	具体対策	整備年度
国・市	大社地域交通渋滞対策	繁忙期 実施中

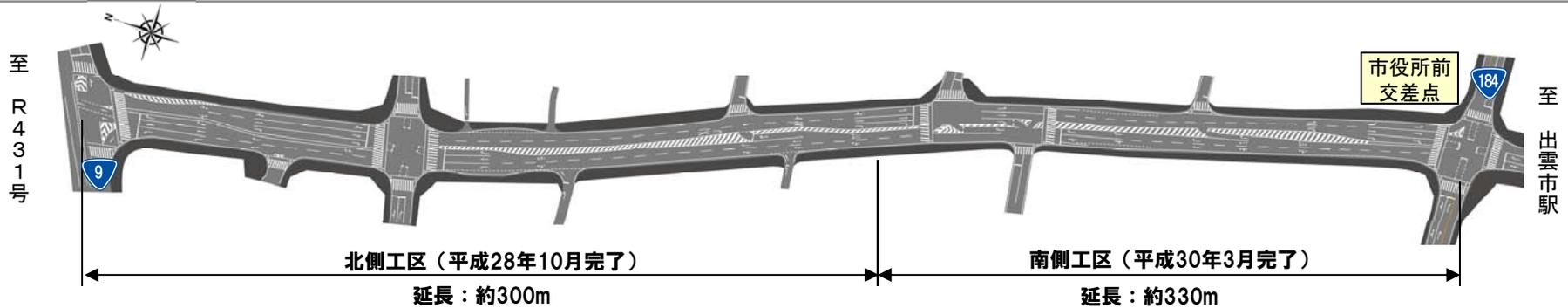
凡例

- (赤) 主要渋滞箇所 (効果検証)
- (黒) 主要渋滞箇所
- (青) 高速道路 (有料区間)
- (赤) 国道 (直轄)
- (黄) 国道 (県管理)
- (緑) 主要地方道
- (黄) 一般県道
- (青) 渋滞施策 (実施中)
- (黒) 渋滞対策 (実施済)

2.2 (都) 出雲市駅前矢尾線の効果検証

(2) 事業概要

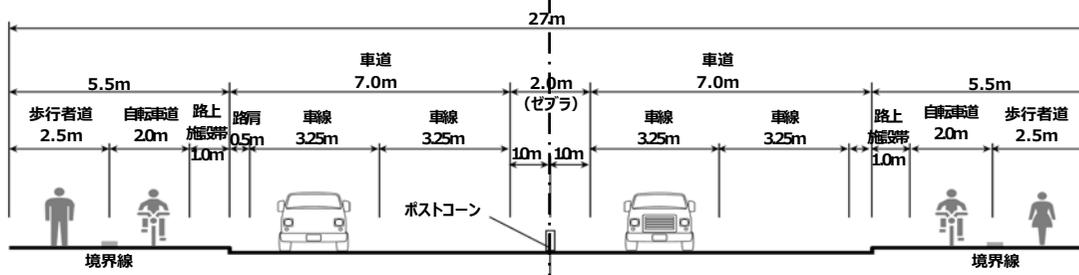
- 出雲市駅前矢尾線は、JR出雲市駅と国道9号を結び都市の骨格を形成する幹線道路。
- 交通安全や渋滞緩和を目的として、平面4車線拡幅整備、自転車・歩行者道等の拡幅整備を実施。



■ 整備前



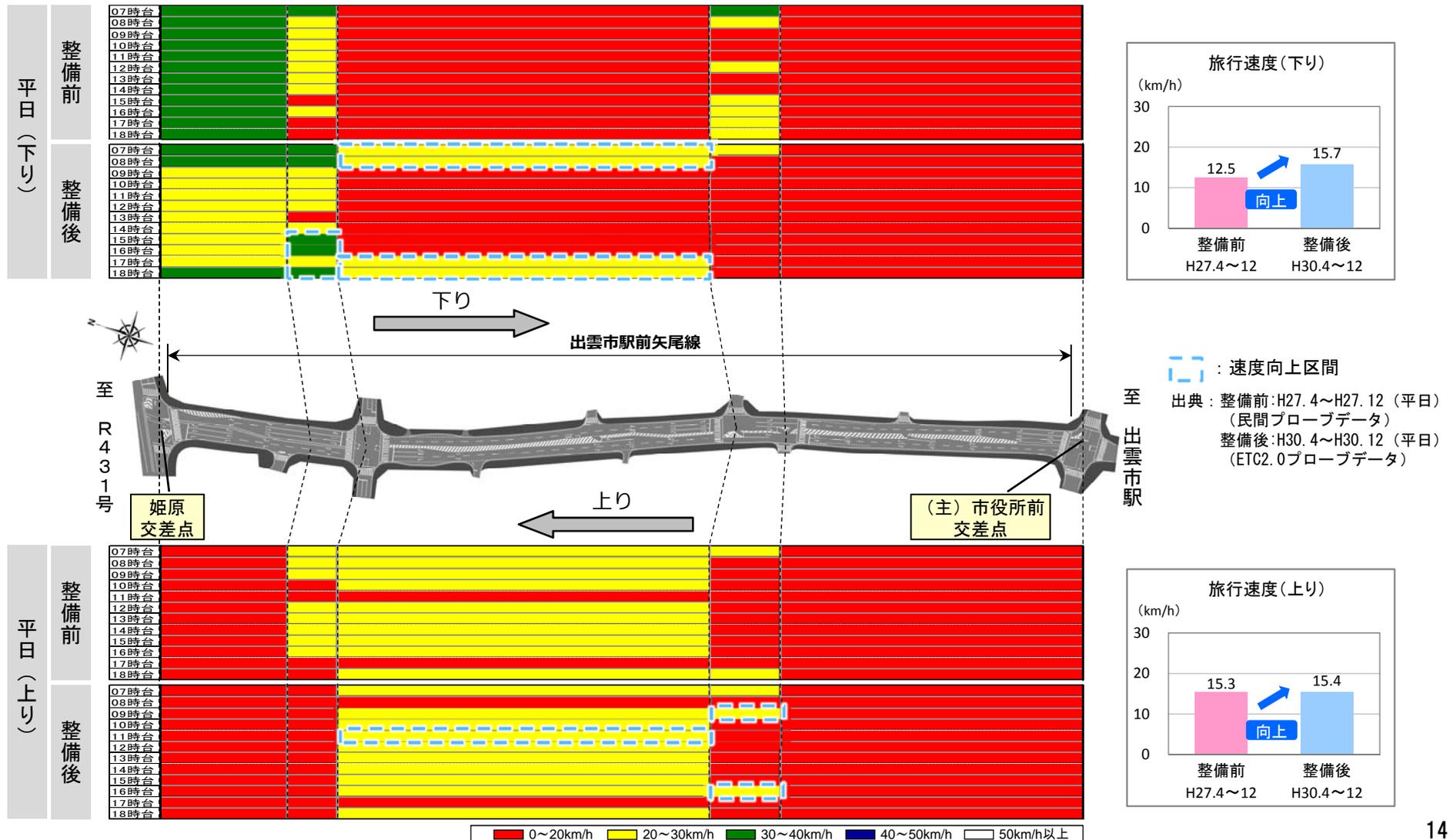
■ 整備後



2.2 (都) 出雲市駅前矢尾線の効果検証

(3) 効果検証: 出雲市駅前矢尾線(速報)

- 出雲市駅前矢尾線の整備に伴い、朝ピーク時における下り線(出雲市駅方面)は、一部旅行速度20km/h以下の区間が改善。
- また、夕ピーク時における時間帯でも同様の区間で、旅行速度20km/h以下が改善。
- 上下線ともに整備前と比べ、路線全体の旅行速度が向上。

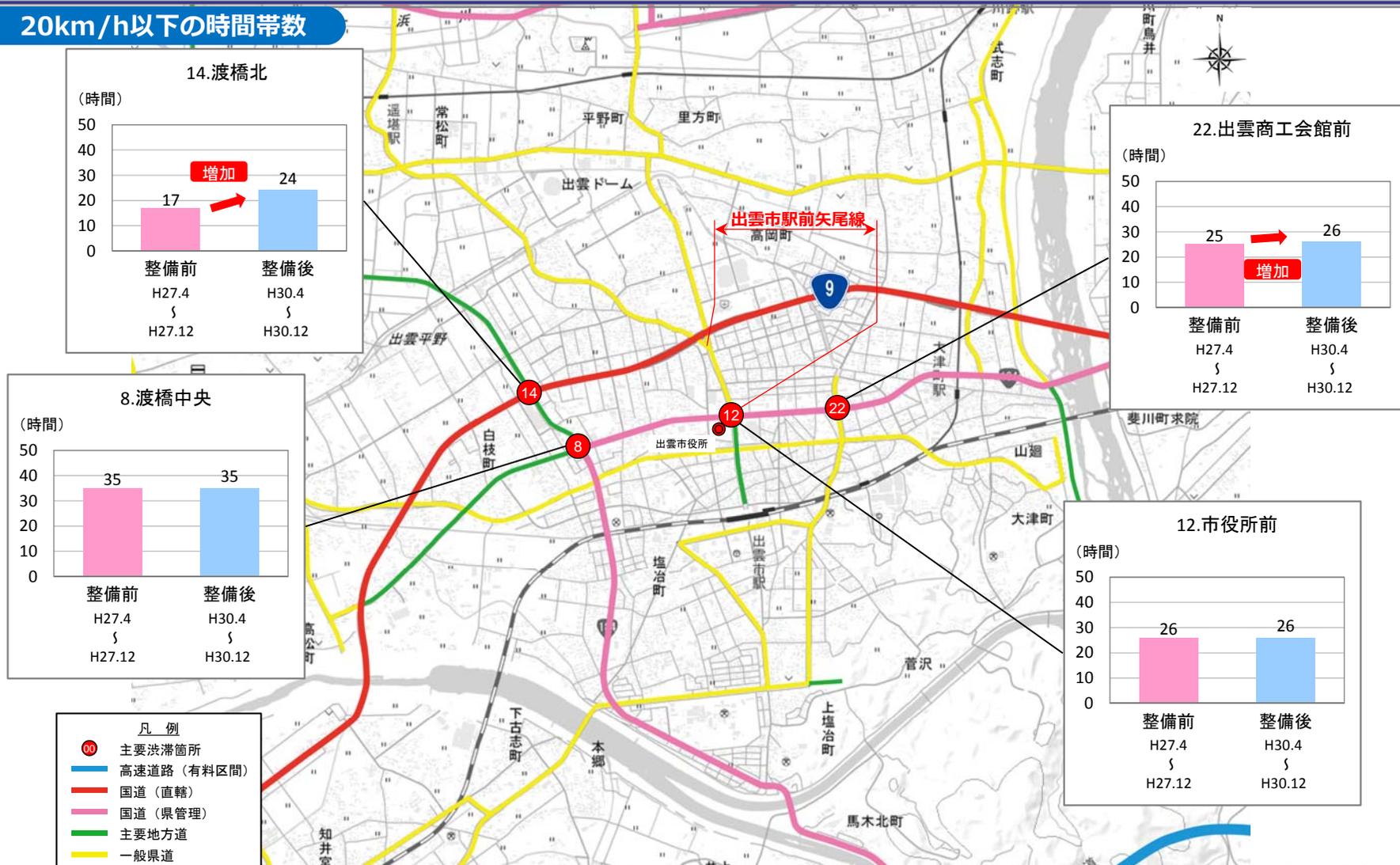


2.2 (都) 出雲市駅前矢尾線の効果検証

(3) 効果検証:主要渋滞箇所(速報)

- 対策を実施した市役所前交差点および出雲市駅前矢尾線の周辺の主要渋滞箇所における、20km/h以下の時間帯は整備前と比べ改善されていない。
- 平成31年度以降も引き続き各交差点におけるモニタリングを実施。

20km/h以下の時間帯数



3. 道路利用者会議と連携した渋滞対策の推進

3.1 渡橋北交差点の渋滞対策

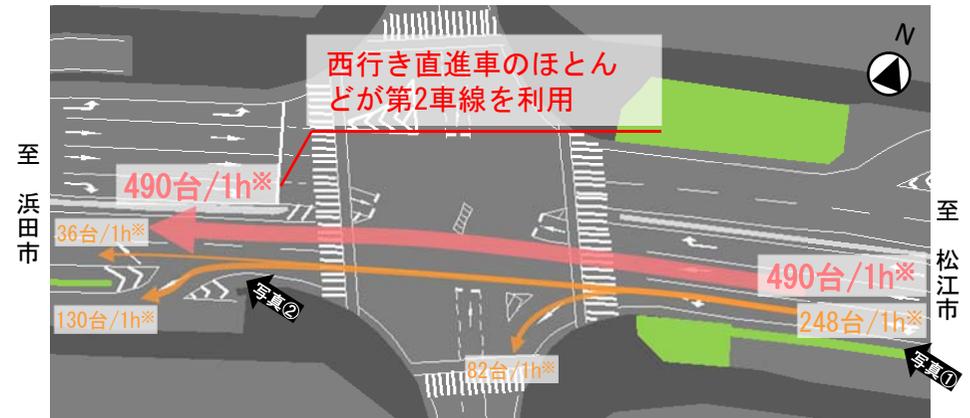
3.2 荻杼交差点の渋滞対策

3.1 渡橋北交差点の渋滞対策

- 西行き流入部は2車線あるが、流出部100m程度で1車線に絞り混まれるため、直進交通が第2車線に偏在し渋滞が発生。
- 西行き流出部2車線区間の延伸(車線運用の変更)する等により、第1車線の利用率を向上することで渋滞を図る。

▼位置図

14. 渡橋北



出典：交通量調査結果：H30.9 17:00~17:30 (※1h値に換算)

対策前

🚗：副道に進入する交通 🚗：直進交通



対策後



3.2 荻杼交差点の渋滞対策

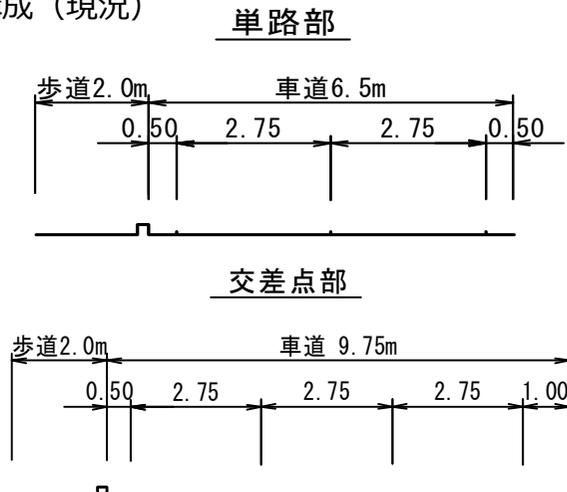
- 荻杼交差点では、交差点部の交通容量に対する交通需要を超過。特に右折車両が多く右折車線を超えて滞留し、後続の直進車の進行を阻害することによる渋滞が発生。
- 対策については、交差する県道斐川出雲大社線（県道161号）を含めた改良の検討を進める予定である。
- 実施にあたっては、島根県と協議を行い概ね5年（平成35年度）での整備を目指す。

位置図

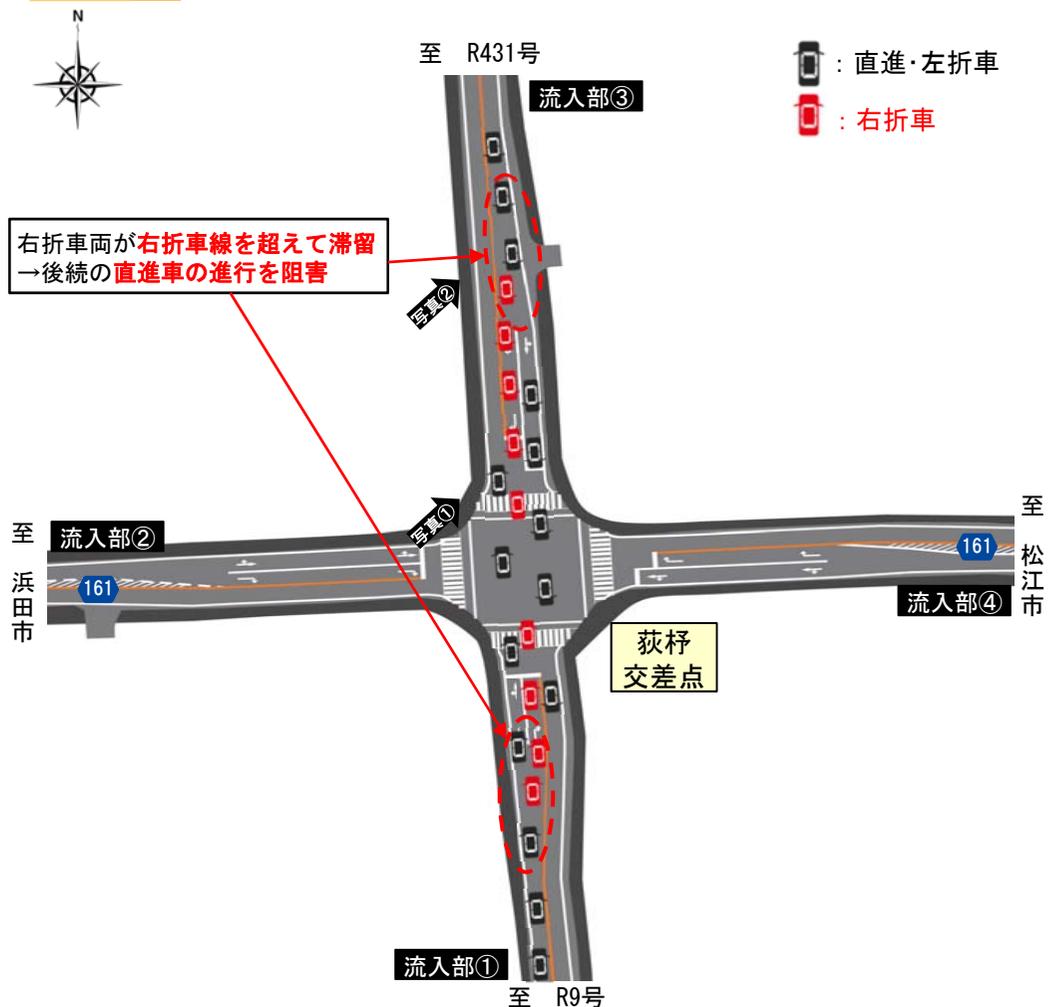
36 荻杼



横断構成（現況）



現況



4. 観光地における渋滞対策

- 4.1 渋滞対策の実施概要
- 4.2 次年度検討に向けて

4.1 渋滞対策の実施概要

出雲大社の課題・要因

- 平成の大遷宮により、平成25年GWにおいて**最大16kmの渋滞**が発生
- 臨時駐車場の確保、シャトルバスの運行等対策を行ったが、**平成28年GWで最大1.8kmの渋滞**が発生

【位置図】



H28GW 渋滞長調査結果

渋滞対策メニュー		H26		H27		H28	
		初詣	GW	初詣	GW	初詣	GW
渋滞・駐車場情報提供サイト	チラシ	○	○	○	○	○	○
シャトルバス	有料(片道)		250円		100円		
	無料						
P&R駐車場	雲州平田駅周辺	○	○	○	○	○	○
誘導看板		○	○	○	○	○	○
交通規制		○	○	○	○	○	○
駐車場回転率向上(警備員配置)		○	○	○	○	○	○
臨時駐車場確保		○	○	○	○	○	○

平成29年の取組

- 平成29年GW・神在月では平成28年での取組に加え、事前予約駐車場を改善し対策を実施。(予約駐車場P10→P7に変更。当日予約の追加)



平成29年の課題

平成29年GW・神在月では満車駐車場がある一方で空きのある駐車場もあるなど駐車場の利用状況に偏りが発生。また、ピーク時は最大600台程度の駐車場待ち車両が発生し、空き駐車場への分散、活用の見直しが必要となった。

平成30年の取組 GW (5/4) に実施

- 空き容量のある駐車場の有効活用や臨時駐車場への分散を図るため、二次交通（シャトルバス運行）と組み合わせた駐車場事前予約サービスを実施。

・平成29年GWと同程度の利用者を想定、渋滞区間沿線でない駐車場P11で事前予約を実施。

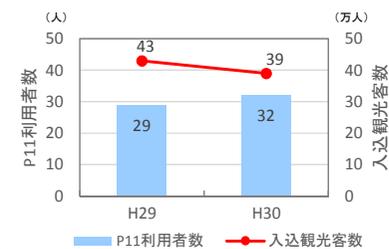
・さらに、利用駐車場の分散および利便性の向上のため、事前予約駐車場P11より出雲市役所大社支所までシャトルバスによる無料送迎を実施。



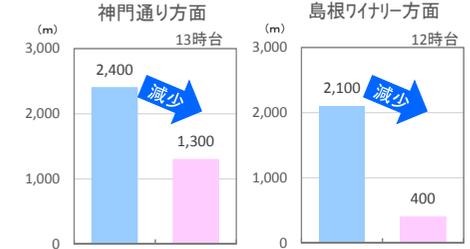
【取組結果】

- 平成29年GWに比べ、入込客数は1割減であったが、事前予約駐車場の利用数は32台（平成29年GW：29台）とほぼ横ばい。また、事前予約駐車場の利用状況は、対策を実施した5/4以外は全く利用がなく、対策による駐車場利用は分散傾向。
- 勢溜交差点からの渋滞長（実測）は、平成29年GWと比べると神門通り方面が最大2,400mから1,300mへ、島根ワイナリー面が最大2,100mから400mへ減少。

事前予約駐車場の利用状況



勢溜交差点の方向別渋滞長



平成31年の取組 (案)

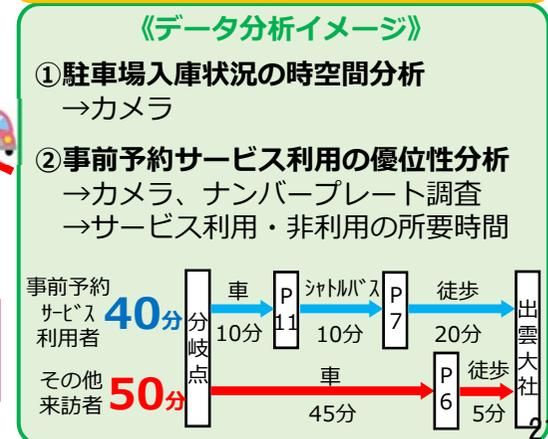
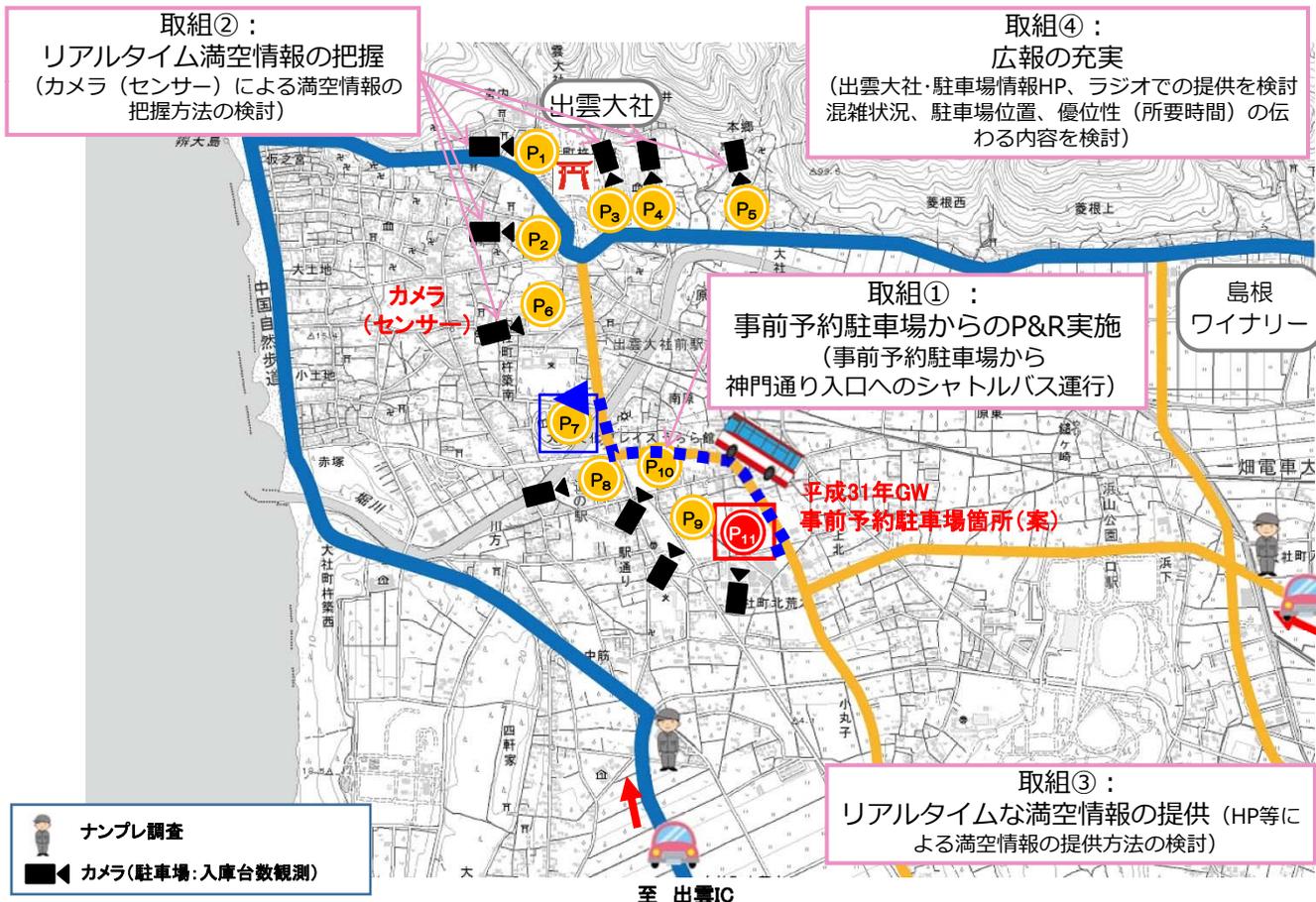
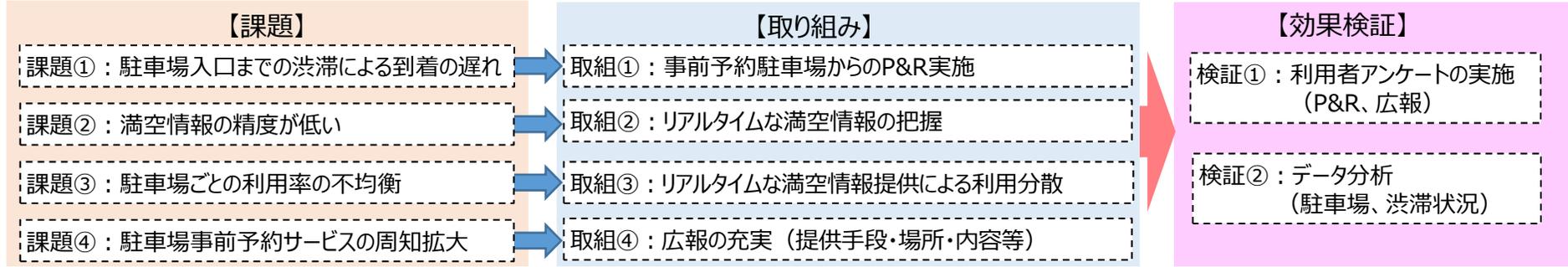
- 平成30年の取組を基本に、以下の検討を追加

- 取組①：事前予約駐車場からのP&R実施
- 取組②：リアルタイムな満空情報の把握
- 取組③：リアルタイムな満空情報提供による利用分散
- 取組④：広報の充実（提供手段・場所・内容等）

4.2 次年度検討に向けて

■平成31年度の取組（案）

平成30年実施の継続を基本に、事前予約駐車場等の渋滞対策メニューの効果（優位性）を測定するとともに、以下の駐車場の最大活用に向けた検討を追加。



5. 冬季の渋滞対策状況

5.1 冬季対策の背景

5.2 強化ポイント

5.1 冬季対策の背景

●国土交通省では、突発的な大雪に対する道路交通への障害を減らすための具体的な対策など今後取り組むべき課題を検討するため、学識経験者等からなる「冬期道路交通確保対策検討委員会」において「大雪時の道路交通確保対策中間とりまとめ」として提言をとりまとめ。提言に盛り込まれた新たな取り組みの実施に向けて、検討を進めている。

大雪時の道路交通確保対策 中間とりまとめ 概要

I 冬期の道路交通を取り巻く環境

- 近年、24時間降雪量の増大、積雪深さの観測史上最大の更新など、雪の少ない地域も含め、集中的な大雪※が局所的に発生
※：大規模な車両滞留や長時間の通行止めを引き起こす恐れのある大雪
- 道路ネットワークの整備が進む中で、車社会の進展、輸送の小口多頻度化等により、国民生活や企業活動の道路交通への依存が高まっており、大雪時の車両の滞留は、国民生活や企業活動に大きく影響
- 集中的な大雪時であっても、通常時と比べて自動車の利用台数に大きな変化が見られない
⇒ 冬期の道路交通を取り巻く環境は非常に厳しい状況

II 大雪時の道路交通確保に向けたこれまでの取り組み

1. 繰り返し発生する大規模な車両滞留

- 集中的な大雪時に大規模な車両の滞留が繰り返し発生、解消までに数日間を要するケースもある
- 高速道路の早期通行止めに伴い、並行する国道等に車両が流れ込み、大規模な車両滞留につながるケースも多い
- チェーン未装着の大型車による影響が大きい

2. 道路管理者等によるこれまでの主な取り組み

- 異例の降雪が予想される場合、「大雪に関する緊急発表」を行うなど道路利用者に注意喚起を実施
- 関係機関の連携強化を図るため、地域単位で「情報連絡本部」を設置
- 除雪優先路線・区間の設定、除雪体制の応援等を実施
- 平成26年の災害対策基本法改正に基づき、道路管理者による立ち往生車両・放置車両等の移動が可能

⇒ これらの取り組みを実施している一方で、大規模な車両滞留や長時間の通行止めが繰り返し発生している

III 大雪時の道路交通確保に対する考え方の転換

これまでの考え方

集中的な大雪時は、「自らが管理する道路を出発だけ通行止めにしたくないこと」を目標として対応

今後の考え方

道路ネットワーク全体として大規模滞留の抑制と通行止め時間の最小化を図る「道路ネットワーク機能への影響を最小化」を目標として対応

IV 大雪時の道路交通確保に向けた新たな取り組み

1. 道路管理者等の取り組み

(1) ソフト的対応

- タイムライン(段階的な行動計画)の作成
 - ・関係機関と連携し地域特性を踏まえ作成・合同訓練実施
 - ・気象予測精度向上
- 除雪体制の強化…(1)
 - ・地域に応じた体制強化・道路管理者間の相互支援などの構築
- 除雪作業を担う地域建設業の確保
 - ・契約方法の改善・予定価格の適正な設定等
- 除雪作業への協体制の構築
 - ・道路協力団体等地域や民間団体が参加できる仕組み等
- チェーン等の装着の徹底…(2)
 - ・チェーン未装着の大型車等の通行制限やペナルティ等の検討
- 集中的な大雪時の需要抑制
 - ・出控え等の要請と社会全体のコンセンサス
 - ・都市部における公共交通機関との連携した呼びかけ
- 集中的な大雪時の予防的な通行規制・集中除雪の実施
 - ・通行止め基準の検討、リスク箇所の事前把握と監視強化
 - ・集中除雪による早期開放
 - ・広域的な広報、予告の発表による広域迂回の呼びかけ
- 立ち往生車両が発生した場合の迅速な対応
 - ・本線等の速やかな通行止め
 - ・沿道施設管理者との連携によるUターン場所の確保
 - ・滞留車両への物資や情報等の適切な提供

(2) ハード的対応

- 基幹的な道路ネットワークの強化
 - ・地域の実情に応じて、高速道路の暫定2車線区間や主要国道の4車線化、付加車線等を通じ、ネットワークを強化…(4)
- スポット対策、車両待機スペースの確保
 - ・カメラ増設、ロードヒーティング等の消融雪設備の整備…(1)
 - ・SA・PAの拡張や待避所の整備等…(4)

2. 道路利用者や地域住民等の社会全体の取り組み

- 集中的な大雪時の利用抑制・迂回
 - ・主体的な利用抑制に取り組む環境の醸成
- 冬道を走行する際の準備
 - ・チェーン等の装備の備え

3. より効率的・効果的な対策に向けて

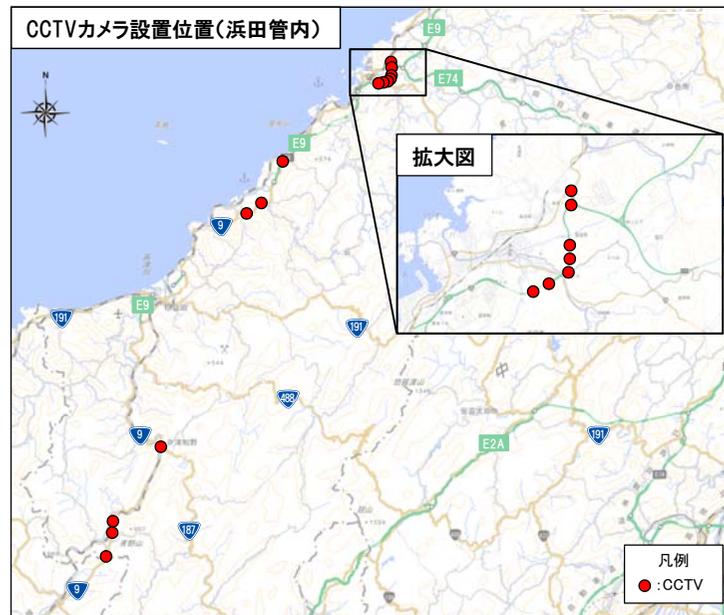
- 関係機関の連携の強化…(3)
- 情報収集・提供の工夫
- 新技術の積極的な活用

5.2 強化ポイント

(1) 機械増強

- 関係機関において除雪車両や凍結防災材散布車の増車、現場状況の正確な把握のためのCCTVカメラの増設など、除雪体制の強化を図っている。

機械	強化内容	目的	実施機関
除雪ドーザー	牽引用ドーザー2台に加え除雪ドーザー1台を増車（リース） 除雪ドーザー0台を2台に増車予定（H31年度）	除雪体制の強化	松国 浜田河川
除雪車両	除雪トラック8台を11台に増車 除雪トラック4台を5台に増車予定（H31年度）	沿岸部の大雪に対する応援体制の構築	NEXCO 浜田河川
小型除雪機	小型除雪機2台を4台に増車	大型機械では困難な料金所周辺の除雪作業への対応	NEXCO
凍結防止剤散布車	凍結防止剤散布車8台を9台に増車	除雪体制の強化	松国
CCTVカメラ	松国では8台を増設 浜田河川では14台を増設 NEXCOでは6台を増設	現場状況の正確な把握、 スタック車両早期発見	松国 浜田河川 NEXCO



5.2 強化ポイント

(2) チェーン規制の準備

- 大型車等の立ち往生車両が発生する恐れの高い区間のうち、島根県内の2区間を「チェーン規制区間」に設定。
- 従来であれば通行止めになる状況においてもタイヤチェーン装着車を通行可能にする。

▼「チェーン規制区間」の概要

大雪時の道路交通確保に向けたチェーン規制の実施について、従来であれば通行止めとなる状況においてタイヤチェーン装着車のみ通行を可能とするもの。

- ・時期：大雪特別警報や大雪に対する緊急発表が行われるような異例の降雪時※
※【全国】平成29年度は、大雪特別警報の発令はなく、大雪に対する緊急発表は3回
- ・場所：勾配の大きい峠部でこれまでに大規模な立ち往生などが発生した区間。

▼大雪による過去の通行止め事例（参考）

- ・場所：一般国道54号
(広島県三次市布野町下布野～島根県飯南町上赤名)
- ・発生日時：平成26年12月5日～6日
中国地方の山間部を中心に積雪を観測
⇒飯南町赤名の積雪量は最大54cmを観測(12/6_9:00)
- ・通行止め時間：16時間30分
- ・滞留台数：広島・島根両県境約60台



国道54号飯南町上赤名(平成26年12月5日14時頃)

▼島根県内の「チェーン規制区間」

路線	区間	延長
E74 浜田道	大朝IC～旭IC	26.6km
国道54号	広島県三次市布野町横谷～ 島根県飯石郡飯南町上赤名	2.5km



5.2強化ポイント

(3) 関係機関との連携強化

- 島根県冬期情報連絡本部を通じて、冬期道路交通確保に向けた対応力強化を図るための合同図上訓練、実地訓練を行うとともに、関係機関とのホットライン再構築や連絡体制の確認など連携強化を図っている。

◇ 連携強化に向けた取り組み

▼ 合同訓練 (DIG)

日 時 : 平成30年10月18日(木)13:00~17:00
 場 所 : 松江国道事務所
 訓練意図 : 島根県冬期情報連絡本部関係者会議の取組みとして、**冬期道路交通確保に向けた対応力強化**を図るための合同訓練(DIG)。通行止めレベルの降雪を想定して各道路管理者と警察が連携し実施。

参加機関 : 松江国道事務所、浜田河川国道事務所、島根県沿線地方公共団体、NEXCO西日本(株)中国支社、島根県警、広島県警、鳥取県警 (計44名)



«参加者の感想»

各機関の実務者の顔が見える中で具体的な除雪対応、情報共有等の連携が図れる訓練であったことから、今後の調整等がスムーズに行えると感じた。

▼ 雪害実地訓練

日時及び : (1)平成30年11月7日(水) 道の駅「頓原」CB
 場所 (2)平成30年12月17日(月) 国道9号津和野除雪基地
 (3)平成30年12月18日(火) 国道9号治和除雪基地
 実施意図 : **雪害時の立往生車両排除**の際の牽引補助を、職員や災害応急対策協定業者が行えるよう、実地訓練を実施。



訓練内容 : ①車両牽引補助 ②車両引込機材設置
 ③チェーン装着 ④照明車操作 ⑤k-λ操作 等
 参加人数 : (1)87名(保守業者、災害協定業者、職員)
 (2)30名(保安業者、災害協定業者、島根県警、職員)
 (3)40名(保安業者、災害協定業者、島根県警、職員)

▼ 関係機関とのホットラインや連絡体制確認 (平成30年11月~12月)

管内の各市町長、警察署長に今冬の雪害対応方針を説明。予防的通行止め、集中除雪実施について理解を得た。大雪時の出控え周知や立ち往生発生時の食料支援等協力を要請し、**情報共有を図るためホットラインの再確認**を実施。



安来市長



NEXCO

5.2 強化ポイント

(4) 実施した対策

- 平成30年2月豪雪時に雲南市加茂で高速バスの事故を発端に大型車等の立ち往生が発生。
- 急な横断勾配による車両の横滑りが原因の1つであったことを踏まえ、横断勾配の緩和を目的とした対策を実施。

◇対策実施の経緯

▼豪雪による立ち往生の発生

雲南市加茂で高速バスの事故を発端に大型車等の立ち往生が発生。



※車両の横滑り状況(H30.2.7)

▼対策位置図



▼対策の実施

急な横断勾配による車両の横滑りが原因の1つであったことを踏まえ、横断勾配の緩和を目的とした対策を実施。

- ①横断勾配の緩和
10.8%⇒6.0%【4.8%改善】
- ②合成勾配の緩和
11.75%⇒7.56%【4.19%改善】
- ③大型車退避所の確保
PAの間口を広げて、大型車の退避所を確保
- ④凍結抑制舗装の設置
下り線(広島⇒松江方面)に凍結抑制舗装を実施

